第１学年

単元名　「みの　まわりの　いきもの」

実践のポイント（工夫）

・

実践内容

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 過程 | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価 |
| はじめなかおわり | ○学習の見通しを持たせる〇自分の好きな身のまわりの生き物を思い出させる。　〇生き物について経験したことをノートに書く。　　〇身のまわりの生き物について経験したことを発表し合う。〇次回の予告 | ・生活科での観察カードの学習を思い出させ、国語の学習であることを意識させるために、「よく見て書くこと」とはどういうことなのかを問いかけ、考えながら学習を進めていくことを伝える。・板書しながら、できるだけ多くの生き物を思い出させる。・生き物がどんな様子をしているかに視点を向けさせる。（色や形、大きさ、うごき、気がついたことなど）・児童の気づきや思いを大切にし、「書きたい」という意欲を持たせるようにしたい。・発表を聞き、友達が伝えたい生き物をイメージしながら聞く。・作文を書くために、より詳しく書けてたところ、次回の授業で確認していくことを伝える。 | 【書く】身のまわりにいる生き物について考え、経験したこと書くことができる。 |